京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

人物管見（一）

片々生

▲伊藤系と山縣系 とは自ら其人物が變つて居るのは面白い、伊藤系の人は才子肌にして多少學識もあるが其性格が鮮明である山縣系に至ては性格の鮮明を缺けるものが多い、併し多少氣骨を稜としたる所のものがある、山縣系で其性格の鮮明でないのは先づ桂と曾禰と清浦だろふ、大浦や平田に至つては餘り鮮明過る位である、從て其人物も聊か小さい樣である、桂は既に世の許言定つて天晴れ山縣公の後繼として目せられて居るから、之は別物として清浦と曾禰は何れが豪いだろふか、之に對しては何人も清浦の方が豪いと云ふだろふが、併し何れが人格に於て大であるかと云はゞ、之には何人も即答に苦しむであろふ。

▲人格の大小を 論じたならば或は曾禰の方が大きいかも知れぬ、併し仕事をさせれば無論清浦の方が豪いに違ひない、世の中には折々曾禰のよふな人物がある、ヌーボー式にヌッとして居る爲に其底が解らない、併し段々仕事をさして見れば判る、曾禰は農商務大臣も司法大臣も大藏大臣もしたがまだ之と云ふて取留めた事をしないから能く判らぬ、其仕事の仕振り鹽梅では餘りに感心は出來ないが、何となく底力がドコかにあるよふでまだドン底が判らない、存外底は淺いかも知れぬが、慥に多少の底力はある之を試驗するのは今後の統監政治である、統監職は自己の手腕が自由に揮へるだけ其力量も能く判るのである、伊藤公の眞價も三年有半で判つたではないか。

▲末松謙澄と曾禰 とは好い取組であろふ末松も多少性格に不鮮明な所があつて一寸大きい所がある、伊藤系中では其人格は一番大きいであろふ、末松は曾禰に比べると學識も優て居るし、思想も餘程雅趣に富んで居るが、併し仕事をさせては曾禰には及ばないかも知れぬ、政治家として末松は公明洒脫であるが、手腕は曾禰の方が優つて居るであらふ、紳士として之を許すれば無論末松に團扇を上げるであらふ、が末松は何となく威嚴に乏しい、統監には末松と曾禰と何れが適して居るかと云はゞ、何人でも曾禰の方に手を上げるであらう、其心事を解剖したら或は末松は平民的で曾禰は貴族的であろふ、末松は由來性情淡泊にして執着力に乏しい、曾禰は匆々執着力に富で居る、之が則ち兩人優劣の岐るゝ所である。

▲曾て末松が內務大臣 たりし時のやり方を見るに彼も普通一片の文學者ではない、優に政治家として認むることが出來る、然れども彼は功名心に淡く、政權爭奪の我利々々連と互して奮闘するの氣力がない、故に其思想は殊の外に美しいのである、曾禰は之に反して奮闘力を有して居る、從て功名心も多いのである（つゞく）

文苑

●此れ丈の策　佐藤

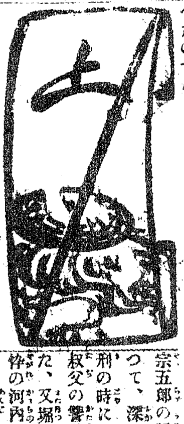
若しも余にして三面記者ならば其の言はんと欲する所は浮山ある、尤も言ふは易く行ふは難いが併し余が妄に言はんと欲する處のものは必ず行ひ得べきものだらうと思ふ曰く上流社會氣風の刷新、曰く新町繁榮策、曰く神社輸入策而して更に曰く泥街繁榮策、曰くビンデー驅逐策、而り余にし三面記者ならば必ず此丈の策は講じたいと思ふ

●病院　青楓

△△病院の前に立つた。△△病院は、梅毒專門の病院であるが、耳鼻咽喉科病院など色の門前、常に雀羅を張つて、不景氣だと喞ち勝なるに反し、こゝは又、患者の絕ず來るは行はの素敵な繁昌である。

吾輩は始めて知つた、京城の地に來て開業せんとする刀圭家は、須らく横痃、淋病消渴、子病宮と、花柳病一手販賣でやらなければ、到底駄目であると。

實にも、病院の玄關に集ひ來る男の大部分は三等症である、通ひ來る女の多くも亦三等症患者である。かるがゆへに、此の三等症の男と三等症の女との閒に生れる子女も亦三等症の不完全な子でなければならぬ筈だ、兩親の報が子に祟るとは、蓋しこのことを云ふのであらうかと思つた。臣は君に忠に、子は父母に孝にといふ、倫理道德の存在して居る以上、子たるもの兩親から遺傳された、この惡疾を甘受せねばならぬ義務があるであらうかさ、つくづく思つたのである。



佐倉宗吾（百廿五）

眞龍齋貞水講演

之を以て觀ましても夢とは申しながら不思議なる話、讀者諸君でも親だとか兄弟だとか親類だとか知人だとか常に知つてる人の夢は見ますが、全然知らぬ人の夢を見ると云ふ事は不思議なもので、假令見た所が、顏などは分るものでございませぬ然るに今の、皇后陛下の御夢に由つて見まするも何うも靈魂は不滅であると云ふ說が起りまして、宮內省あたりの方々は、恐く御信じになつて居るやうでありますが、此御話は昨年三月十八日、私が葉山の高崎男爵の御屋敷へ招かれました時に、御歌所の加藤義清さんが直接御話し下さいました、世の中に事を遣さうとか、又人を何處までも滸はうとか云ふ程の堅き精神と云ふものは、必ず其身体は斃つても、其靈魂は此世に存在すると云ふ事は、事實のやうでございます又人間は萬物の靈長だから、其位の心があつて然るべきものでございます、去れば堀田家に於ては宗五郎殿が、愈々この御政治に就いては身体を擲つたからは、之に顧る所があつて、御仁政を御執り下されば、宗五郎の靈魂が、怨を唱へ、姿を現すと云ふ事はございませぬが、僅か宗五郎の死後三年を經たざる內に、早や以前の如く御取立が嚴しくなつたから、宗五郎殿はじめ三人の者が、茲に其姿を現すと云ふ事になりましたのは、中島宗四郎が、叔父の宗左衛門が宗五郎の訴のため御處刑になりましたに依つて、深く宗五郎を怨んで宗五郎夫婦御處刑の時には、其子供に迄つらく當りまして叔父の讐敵だなぞと心得違をして居りました、又堀田玄蕃は御處刑にはなりましたが悴の河內守は、今日城代を吩付つて、相變らず惡事を働く存、其親にして其子あり親爺の玄蕃が御處刑になつたから、改心でもして仁政を執り、領分百姓に安堵させうと云ふ心持は更にない、依然親爺同樣佞姦にして、我が懷中を肥し、諸人の苦しむことを、毫も氣にしないと云ふ、誠に以て强惡非道の城代、その城代河內守の屋敷へ喚ばれましたのが中島宗四郎、頃は七月の十三日の事でございます、種々御馳走になりまして、段々の話から河內守が　河「イヤ今日ははんに七月十三日であるな　宗「左樣でござる　河「思ひ廻せば最早二年、磔の臺に御處刑になりたる宗五郎のため、殿樣の十八萬石は六萬石を削られ、又かく申す拙者の曾祖父玄蕃も、彼がため無殘の最後を遂げ、今更ながら殘念の至り　宗「左樣でござる、私の叔父宗左衛門とて、御城代樣の御相談に與つたと云ふので、御處刑になりました　河「誠に宗五と云ふ奴は、憎い奴でござる　宗「イヤ何うも身の程を知らぬ奴おやのう　河「御主君も六萬石を削られ、此御名家に瑕瑾つけたるも原因はと云へば領分の一百姓のため、誠に無念の事でござる　河「誠に其通り、長く忘ることの出來ぬ奴は、宗五郎でござる　宗「イヤ何んと要らざる事をして、江戸表へ出て將軍家へ御直訴をするなどゝは、世にも珍らしい不埒な奴でござる　河「去れば彼の一族が、ふ存分の御處刑になつたるも、快い心地でござつた」など話して、今後の惡事の相談を遂げ、宗四郎は御暇を告げまして、城代若黨の文太夫、仲間の勝助を伴れて、堀田河內守の屋敷を出まするさ、段々行つて來て、鹿島口へ掛つて來る、空はどんより曇つて居りまして、月の光は更になく、眞暗い中を辿つて來ると勝助が　勝「文太夫樣ッ　文「何だ勝公　勝「どうも此處へ來ると私は何だか戰慄いたすんでございます、此鹿島口の組立御牢內に、宗五郎夫婦が入つて居りまして、此處を通ふる度毎に、蒼白な顏をして、往來を能く眺めて居りましたが、今でも眼の前へ斯う、ちらりくと散見くやうな氣が致します　文「ヤイ馬鹿野郎ッ、くだらぬ事を云ふな、其樣なくだらぬ事を云はんでも、俺ア先刻から慄然して居るんだ、くだらぬ事を云ふな

廣告

▲夏季飲料　ブランデー。ブドー酒。ウイスキー。シヤンパン　キリンビール・金線印サイダー。シガー。シガレツト
卸小賣
舶來雜貨　洋酒食料品　洋物化粧品　金銀器美術品
直輸入商
京城本町二丁目　同三丁目
辻屋
本店電話二四八番　支店電話三六六番

朝鮮紳士錄
京城理事廳認可　豫約特價金參圓　總クロース金文字入

豫約募集
本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候
申込締切期日　八月十五日
送本期日　九月十五日
登載事項（政治家、軍人、官公吏、經濟家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、俱樂部組合）
發行所　京城西小門通　京城新報社
豫約申込所
本町二丁目　日韓書房
本町二丁目　文林堂
新王城前　盛文堂
北署安洞　大韓書林
中署廣橋東邊　滙東書舘
中署龍朝橋越邊　中央書館
南大門通　義生盛號
本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからさる要書に有之候
豫約募集

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士　岡田榮
（電話三九八番）

御禮廣告
榮太郎儀昨三日歌舞伎座に於て負傷の際は早速御駈付種々御看護に預り候のみならず態々御見舞を辱ふし難有奉深謝候就ては早速御回禮可申上筈の處引續き混雜罷在候間不取敢紙上を以て御禮迄如斯に御座候
七月四日
井門榮太郎
家族一同
親戚一同

前統監樞密院議長公爵伊藤博文閣下新任統監子爵曾禰荒助閣下
送迎の爲來る十二日午後五時より和城臺公園に於て大園遊會開催致候條御贊成の諸彥は來る十日迄に會費金二圓相添京城居留民團役所內送迎會事務所へ御申込相成度候
追て服裝は羽織袴又はフロックコートのこと
明治四十二年七月二日
送迎大園遊會事務所

龍
最上醬油

齒科專門醫院
京城本町二丁目百卅銀行橫
齒科醫勳六等　野田應治
（電話一〇四七番）

店舖至急讓受けたし
營業の大小及場所を問はず成べく秘密を要す直接御申込みあれ
京城長谷川町一丁目
坂本兵太郎事務所
（電話千百十四番）

入院隨意
內外科　小兒科　梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長　陸軍軍醫正　高井貞治

▲美術半衿帯上其他組類各種
京城明治町一丁目
ゑり徳商店

京城新報

無稽の妄說

日清關係は親密也

頃者韓人間に奇怪なる妄說傳はる曰く「日清兩國は近き將來に開戰すべし云々」と是れ何人が放ちたる流言なるか、世に斯る馬鹿らしき廉稀の說も少し、無稽の妄說も玆に至て極まれりと云ふ可し、然りと雖も枯尾花をも幽靈と見る彼れ韓人等には此流言が何等かの爲に利用せられざるとも限らじ彼等の爲に一言其妄を辨ずる豈徒爾ならんや。

曩きに間島の所屬問題に就て日清兩國政府の間に多少込み入りたる交涉ありしは事實なりと雖も、其后同問題も既に兩國の感情を害することなく、圓滿に解決を告げて同問題に就ては今や何等の暗雲なし、彼の小なるプラタス島問題も亦圓滿なる解決を告げんとしつゝあり、現在の懸案問題は安奉線問題其他一二の案件あるのみ、安奉線問題と日本が安奉線の改築工事を爲すに就て清國官憲が其間に異見を挾み居るが爲に今尚決せざるのみ、其異見を挾み居るも北京政府の爲す所と云ふよりも寧ろ地方官憲のなす所ならむ、要するに枝葉の問題に就て其交涉決せざるのみ、元來安奉線なるものは世界通路の爲に改築せんとするものにして、此世界通路を完全にして其巨離を短縮することは帝國の義務に屬す、此義務を果さんが爲に巨万の資を投じて實行せんとするもの也、是れ東亞の文明を增進し世界の交通を發達せしむる爲に最も緊要なる事なりとす、斯る世界的良企圖に對しては素より清國政府と雖も異議あるべき筈なし、然るに彼の地方官憲が其間に異議を挾む所以は畢竟何等かの誤解に出づるものたるや明也、故を以て此等の誤解は早晩解除せられて圓滿なる解決をなすに至るべき也、其他の懸案問題としては法庫門鐵道に關する件等に過ぎず、此等の問題も順次に解決さるゝに至るべし、要するに今や日清兩國の國際は益々親密にして將來永遠に兩國相提携して東亞文明進步の爲に盡くすべし、見よや現に清國の大喪に際しては我　聖上陛下は伏見宮殿下を大使として派遣せられ、今又清國の答禮大使として振貝子殿下は來朝せられ其御待遇も淺からず、之を見るも兩國の關係は眞に親密にして到底開戰の如き不祥の事はあり得可らず、亦世界の大勢よりするも東亞の趨勢よりするも、兩國は是非とも相一致して其平和を保持すると共に文明の增進を計らざる可らず、斯る秋にありて何すれぞ兩國相鬩ぐが如き事をなさんや、然るに開戰云々と云ふが如きは即ち齊東野人の放ちたる囈語にして一笑の價だになし、是れ何人か爲にする所ありて韓人間に放ちたる荒誕無稽の流言ならむ、余輩は斯く斷言するに躊躇せず、一言以て蒙を啓き置くもの也。

伯林電報

▲露國絕東移民　絕東殖民事業に關し露國農務次官の實地踏查報告の一節に曰く近來支那、朝鮮人にして絕東に於て土地を買收し又は賃借するもの〻勢力洵に侮る可ちざるものあり之を防止するは國家の急務なり朝鮮國境に露國人を移殖すると同時にポセット灣附近に移住地を設定し尙韓人に或特權と補助を與へ沿海州と黑龍江州の北部に移すの必要ありと（六日午後東京經由）

東京電報

▲安奉線と決心　淸國政府は安奉問題に對し毫も誠意なく極力我提議を排斥せんとせり若し今後尙は反省せざるに於ては交涉顛末を發表して天下に問ふの外なしと當局者は明言せり

▲前駐韓軍將官行賞（將校）　前駐韓軍司令官第十三師團長以下駐韓軍將官及將校の論功行賞は本日發表されたり

前駐韓軍司令官　陸軍大將子爵　長谷川好道
賜菊花御紋章付金盃一組
第十三師團長　陸軍中將男爵　岡崎生三
敍勳一等授旭日章一時賜金四百廿圓
陸軍少將　明石元二郎
同　小野寺實
同　恒吉忠道
同　丸井政亞
同　依田廣太郎
陸軍中將　牟田敬九郎
敍勳二等授瑞寶章一時賜金二百八十圓

尙此外步兵第二十三聯隊に勳五等旭日章一名同六等一名勳四等瑞寶章三名同五等二名同六等一名賜金四十五名鎭海灣要塞砲兵隊に勳四等瑞寶章二名同五等二名賜金者十一名ありと

▲濱職議員補欠　濱職代議士一同の補缺選擧は八月中旬に行はるべし

▲實業家の渡米　渡米實業家の一行は八月十九日ミネソタ號にて橫濱を解纜する筈なり

▲載振貝子出發　淸國答禮大使の一行は來る八日新橋を發し函嶺三泊名古屋一泊神戶一泊の上十三日同地より乘船歸國の筈なり

▲二醜類不控訴　濱職議員中木村半兵衞は昨夜森本駿は今朝出獄したるが何れも控訴をなさゞる筈なり

雜報

▲チロル氏の發着　倫敦タイムス記者チロル氏は今朝到着したるが小村外相の午餐會に招待せられ午後五時橫濱發の信濃丸にて歸國の途に上る（六日午後發）

●皇室の贈呈品

今回我が皇室より韓皇室に對し伊藤公を以て左の御贈呈品ありたり

天皇陛下より韓皇へ
一、銀製桐鳳凰の模樣ある鉢　一個
太皇帝へ
一、銀製菊模樣の鉢　一個
皇后陛下より韓皇后へ
一、七寶燒花瓶　一對
皇太子殿下より韓皇へ
一、銀製花盛器　一個

東京電報

る時は交涉顛末を公表し是非を天下に問 [illegible]

●新舊統監謁見

豫報の如く伊藤前統監は曾禰統監と同道、石塚、鍋島兩參與官、村田、外波兩武官、古谷、國分、佐竹三秘書官、小山技師、日高內大臣秘書官、森宮內大臣秘書官を從へ六日午前十一時二十分昌德宮に參內、仁政殿に於て韓皇に謁見し終つて東行閣に於て陪食を賜はり優渥なる勅語あり伊藤公答辭を述べ夫れより別室に於て皇后に謁見し午後一時四十五分退闕したるが歸路村田、外波、古谷、國分、小山の各隨員を從へ德壽宮に參內し太皇帝に謁見したり

●東拓總會無効請求事件の開廷

昨六日午前十時開廷原告峰岸繁太郎被告代理人岡田榮出廷着席掛判事たる河村副理事官は直に口頭辯論を開く旨を告げ原告は一定の申立をなし其理由を陳述し被告代理人は之に對して答辯をなし夫れより事實及法理の辯論に入り辯論收結したるは正午十二時なりき尙河村副理事官より來る十三日判決の言渡しあることを原被兩造に申渡されたり

●統監邸晚餐會

豫報の如く統監邸の晚餐會は五日夜八時伊藤公の入京後同邸に於て開催されたり集まるもの日韓の文武高等官六十餘名席定まるや曾禰統監は起つて伊藤公無事着の祝辭を述べ次で李首相の演說あり了つて卓を圍み晚餐を共にしたるが散會せしは午後九時半

●觀察使會議の延期

昨紙所報の如く各觀察使は悉く入京したるも伊藤公入京せし爲め當分の內同會議は延期さる事に決定せり

●送迎園遊會ご案內

李總理は勅命を奉し新舊統監送迎會を八日午後一時より景福宮に開催すべきに就き李總理の名を以て夫れ〴〵案內狀を發したり

●局長課長の訓示

第三回任命の郡主事に對し六日午后一時より澤田地方局長及平渡府郡課長は地方行政に關する訓旨を與へたりと

●中銀の重役ご任期

中央銀行の重役は總裁一名理事三名監事二名以上を置く筈なるが總裁の任期は五ヶ年にして韓國政府之れを任命すべしと云ふ

●社還米ご財務署

度支部及內部にては双方協議の上從前の社還條例を存置し社穀の融通は地方財務と相連係せるを以て財務署の主管とするを適當とし地方官は財務官署の意見に基き之れが運用を爲すべき旨今回訓令を發したりと云ふ

●蔘業の臨時調查

韓國の特産物たる紅蔘の年收額は數年前迄は二百萬圓以上なりしが近來根腐病發生の爲め著しく産額を減じたるが政府は今回二萬二千餘圓を支出して蔘業調查を爲す事に決定したり

▲米國投資無根　吉長線間

●發火演習の擧行　七日步兵第十三聯隊

●天氣豫報（自六日午後六時至七日午後六時）

●伊藤公の獻上品

伊藤公は六日韓皇室へ左の品物を獻上せり

韓　皇へ　一、七寶燒大花瓶（龍模樣）一對
　　　　　一、銀製鉢　一個
韓皇帝へ　一、丸形置時計　一個
　　　　　一、琥珀纖卷物　一箱
太皇帝へ　一、角形置時計　一個
　　　　　一、鼈甲寫眞帖　一個
嚴　妃へ　一、琥珀纖卷物　一箱

●駐屯軍ご傳染病

滿韓駐屯軍の昨年に於ける傳染病總數は三百五十七名にて內地軍隊に比すれば其成績頗る良好にして內關東軍百二十三名韓國軍にて二百三十四名（何れも赤痢腸窒扶斯）なるが其死亡率も極めて少數なりといふ

●地方費ご地方財産

本年四日法律第十三號を以て觀察使又は郡守に於て管理すべき公益の爲めに設定したる地方財産に關する件を發布したるが今般內部は各地方長官に宛右地方財産の內地方費に編入すべき財産を撰定し關係財務監督局長と協議の上其財産の性質、種類、數量及從來の管理方法を具申すべき旨訓令を發せり

●民團の贈呈品變更

京城民團にて伊藤公に古刀一振を贈呈すべしとの議ありしが都合に依り北韓にて獲たる大虎皮一枚を贈る事にしたりと

●大每社長の歡迎會

既報の如く五日夜翠雲樓に開催したる大坂每日新聞社長本山彥一氏の歡迎會の來會者は菅原百三十、市原一銀の兩支配人主なる民團議員、各新聞記者通信員等三十餘名にして熊谷民長の挨拶に次で本山氏の有益なる演說あり歡を極めて散會したるは十一時過なりき

●軍司令部借地人會

龍山軍司令部敷地を借入れたる京城管區の住民は既に二百余戶に達したれば今後の發展上今に於て打ち合せ置くべき必要もあればとて五日借地人組合を開き熊谷民長を會長に推し今後の方針を協議したり

●伊藤公の演說

……五日晚餐會に於ける……

五日夜統監邸の晚餐會に於て先づ曾禰統監及び李總理は杯を擧げて伊藤公の万歲を唱へたるが續て公は左の如き演說を爲したり

余の初めて韓國に臨んでより既に三年有半最初奉命の時に方つて至尊並に日本政府に對し斯く老衰の身を以てしては任務を全ふし得ざるも對韓政策の端緒を開くとならば敢て辭する所にあらずと答たり再來一昨年に於て官制を改正し副統監を置きしが今や其職を副統監たりし曾禰子に讓ることゝせり而して予は益々日韓の親和を計り兩國の皇室及び人民の爲めに舊來の方針に從ひ盡力さるゝこと疑ひなしされば諸君も新統監の爲めに一層勉むる處なかるべからず今日の事情は予の就任當時とは大に異なれり而して予の特に感動せしは今回韓皇より賜はりたる御親書の中に利害共通なる文字あり此眞意を兩國共に服膺して更らに東洋の全体に及さんこと肝要なり先日東京を去るに臨み參內して　陛下に謁し數時間所見を奏上せしに　陛下には兩國の融和を計る爲めに朕の意を傳へよとの御諚ありし次第にて今日の日韓兩國は眞に一家の如く左提右携の實を擧げざるべからず云々

●中央銀行の事業

韓國中央銀行は其の名を韓國銀行と稱する筈にて營むべき事業の性質は國庫金取扱及兌換券發行の外左の如きもの〻由なるが全文四十八ヶ條にて既報の如く最近の參與官會議に附し決定せらるべき筈なりと

一、爲替手形其他商業手形の割引
二、爲替及荷爲替
三、平常取引する諸會社又は商人の爲め手形金の取立
四、確實なる擔保ある貸付
五、諸預り金及當座貸越勘定
六、金銀貨金屬及諸證券の保護預り
七、地金銀の賣買
八、他銀行の業務代理

●滿洲の大銀行

滿洲に於ける金融機關の不備は朝野の問題なるが桂藏相は機を見て同地方に完全なる銀行を設置し滿洲の經濟的發展に一新紀元を開かんとの胸算あり數次舊滿鐵總裁たりし後藤遞相に意見を徵したる結果近時愈々勝田理財局長の歸朝を待つて其方法を決定すべしといふ尤も其形式に至つては未だ具体的の成案なしと雖も一千萬圓資本の株式銀行と爲し滿鐵をして大株主の資格を有せしめ直接に扶掖せしむる計畫なりといふ

●貨幣發行高週報

一銀韓國總支店に於て六月二十七日より七月三日迄の貨幣發行高は左の如し

第一銀行券總發行平均高	九、九九八、九〇〇
內　正貨準備發行額	三、三五一、四〇〇
保證準備發行額	六、六四七、五〇〇
銀行券平均手許有高	七四四、六二六
銀行券市場平均流通高	九、二五四、二七四
硬貨發行額（七月三日現在）	四、二九〇、二一〇
內　金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同　十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六七一、五〇〇
同　二十錢	七三八、五〇〇
同　十錢	四四五、五〇〇
白銅貨五錢	七八一、六五〇
青銅貨一錢	一三九、六五五
同　五厘	六三、四〇五
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●各官吏問安署名

六日は韓皇東籍田行幸の翌日なりしを以て韓國各部官吏は典例に依り同日午前十時より十二時迄の間に昌德宮に參內仁政殿に於て問安簿に署名したり

●鴨綠江の漁業調查

鴨綠江及西朝鮮灣の漁業實況調查の爲め釜山韓國水産組合長岡十郎氏及農商工部水産技手關平馬氏は七日出發平安南北道に出張せり

●全道の耕地面積

最近の調査に係る韓國全道の面積及耕地面積は左の如し

道別	全面積	耕地面積	未耕地面積
咸南	一、八一七	一一〇	一、七〇七
平北	一、六八〇	七二	一、六〇八
江原	一、六六八	四七	一、六二一
慶北	一、三三三	二六五	一、〇六八
咸北	一、二二四	一六八	一、〇五六
平南	一、〇八四	一一三	九七一
黃海	一、〇九〇	一四八	九四二
全南	八〇三	一九六	六〇七
慶南	七八八	二二一	五六七
京畿	七四八	九七	六五一
全北	六〇七	一二八	四七九
忠南	五四〇	一一七	四二三
忠北	五〇八	六〇	四四八
合計	三、七六〇	一、四五三	三、三〇七

●太皇帝の下賜品　太皇帝は五日皇宮警察署及消防係員一同に對し扇子二百二十八本を下賜されたる由

●兩秘書官の宿所　伊藤公に隨伴して五日夜入京したる內大臣秘書官日高秩父宮內大臣秘書官森泰次郎の兩氏は天眞樓に投宿したり

●裁判所書記の昇任　法部にては四日司法官銓衡委員會を開き現任裁判書記中より司法官の資格あるもの七人を銓衡したりしが右は數日內に判檢事に任命さる可しと

●地方巡查の增給　內部にては今回各地方警察署在勤巡查の俸給を一圓宛增給する事に決定せりと

●夏期講習會の盛況　東京に在る大韓興學會にては夏期休暇を利用し講習會を漢城內に置き興學會員を派遣して諸學科を教授する筈なるが入學志願者既に七百八十余名に達し豫期以上の盛況を呈したるを以て既定の位置を變更して西北協成學校內に設置する事とし九日より開會する由なり

●保安課長代理任命　保安課長岩井敬太郎氏引籠中內部警視中野有光氏保安課長代理を任命されたり

●呼子警視の歸任　皇宮警察事務取調の爲め東上中なりしが六日夜行列車にて歸任

●北韓稻作概況　北韓咸興地方は春來氣候順を得且つ降雨あり播種は前年に比し約一週間早く着手せしが永興郡以南の地にして苗代に依るものは四月十日以後より同月廿日迄の間に於て永興以北の地に在つては何れも苗代に依らず直播（散播）にして五月十日前後より同月廿日頃の間に於てせるが播種後も上述の如く順候を持續し且つ降雨も亦た潤澤にして用水の不足を告ぐることなく頗る佳良の態にて發芽は生育伸長にして何等枯病患害等を認めず六月中旬に於ては其苗代によるものは一寸內外直播に依るものは八寸强に達せり永興北南の地方に在りては苗代に依るものは當季を中心として挿秧に着手せしが永興以北のものは六月十四、五日頃より第一回の除草に着手せり之を前年度に比すれば數十日間早しと

●警部の昇級　六月三十日附を以て左の如く理事廳警部の昇級ありたり

二級俸下賜　警部　藤村源太郎
三級俸下賜　同　福田豐喜
四級俸下賜　同　橋本房一
　　　　　　同　神崎稼一
五級俸下賜　同　乙政浩氣
七級俸下賜　同　羽咋德藏
　　　　　　同　出野務
　　　　　　同　眞柴岩藏
　　　　　　同　岸田三次郎
　　　　　　同　渡邊吉兵衛
　　　　　　同　眞鍋長平
　　　　　　同　野村大太郎

公人私人

▲內田竹三郎（朝鮮實業協會主幹）　不知火に投宿中の處五日釜山へ
▲谷口小次郎　三日月に止宿中の處同日平壤へ
▲津田武（順天時報記者）　五日釜山へ
▲林二輔（近衞步兵第二聯隊中佐）　巴城館に投宿中の處同日下關へ
▲宮原定正（水原農林學校教授）　五日歸任
▲巻永眞吉（同上）　同上
▲指宿武吉（同上）　同上
▲吉永助一（忠南警務部長）　五日入京不知火へ
▲石原半左衛門（釜山民長）　同原金へ
▲岩崎直英（仁川民長）　同巴城館へ
▲松本重敏（淸津理事官）　同
▲三增久米吉（馬山理事官）　同京城ホテルへ
▲能勢辰五郎（大邱理事官）　同
▲上林敬次郎（度支部書記官）　同山本へ

近事片々

▲伊藤　前統監の來着歡迎は匆々盛なりき南山々麓に砲列を敷き禮砲の音山嶽に響く
▲老公　の服裝は金色燦然たる統監服に非ずしてフロックコートにパナマ帽極て瀟洒
▲而も　悠然としてシガーを燻らし悠揚たる態度何れよりも見るも立派なる元勳に候
▲後の　馬車には曾禰新統監金色まばゆき統監服にして例の顏容もて矢張り悠然たり
▲老公　幾分黑髮黑髭を殘す而も曾禰子は白髮白髭何れが翁か判らぬが仄に童顏存す
▲斯く　新舊統監を對照して眼前に見るに於ては聊か過去を追懷せられ一種の感起る
▲一昨　五日夜來豪雨沛然として降り地方農民は歡呼す是で京城附近の植付は出來る
▲頃日　來の旱魃にて農民植付の出來ざるに苦む此降雨は眞に萬金の價あり喜ぶべし
▲地方　農民等烽火を焚ひて降雨を祈ると
▲前の　總務長官鶴原君は近來ドウ感ずつたか政友會に屢々行くと矢張り復黨するか
▲同君　曰く余は餘生を政治運動に送らうと併し之は些と柄になき言草には非ざるか
▲政治　家として君は全然不合格何處迄も官吏的に出來て居る發心も是では誤るべし
▲北海　道より橫田の後釜に打て出るとの噂もあるが代議士は不向富豪の番頭適任か
▲佛人　近頃日本公債を歡迎し頻に買入ると聞く佛國の富は大之が輸入は誠に可喜か
▲倫敦　紐育は日債の得意場更に巴里に歡迎を受くる日本將來の爲には是も好都合也
▲日糖　事件公判終結し醜代議士の罪條定まる是に依りて議院の風紀を幾分改善せんか
▲司直　の公明正大は善政の基日糖事件も公明の判決也倍元兇磯村秋山の徒は如何や
▲內村　鑑三曰く宗教家と教育家程嫉妬の深い者はない排擠陷井は彼等の常手段也と
▲是れ　彼等其職を奪るれば潰か利かぬから頻に嚙付主義を取る故也實に是れ適評也

▲安奉線と當局 吉長線問題に對する安奉線問題は目下小池奉天總領事と伊集院公使とにて清政府の反省を促し居れるが清政府にしてもし反省せざ……題に對し本國が資金を投せんとの說は無根にして日清間に圓滿なる交渉進行を望みつゝあり（以上六日午後發）

▲露國の通牒 露政府はテヘラン在留外人の保護を名としペルシャ國境に千八百人の兵士を駐屯せしむる旨關係列國に全文電報の通知書を發したり

……は午前中新町附近に空砲發射演習を六日午前七時より午後五時迄龍山附近にて實彈射擊を十日夜間梨田基漢江附近に空砲演習を擧行する由

●北東の風曇少雨 五日 最高溫度 最低溫度（華氏）

●配達出拂 午後七時三十分

▲相談の相談▼
（何んでも御相談に應じ升）

◎問 私は當時某官衙の給仕を奉職して居るのですが一生官吏で終る考へは有りません何うかして渡米致し一旗上げたい心算ですが何とかして旅行券の下附を受ける工夫は有りませんか渡米した上で適當な職業に就く考へですが現在私の考へて居る職業は
一、大雜貨店に職を求むること
一、勞働に從事して勉學すること
記者さん何れが宜しいでしょうか又父母は得心するでしょうか、旅行券下附申請手續は如何でしょうか御教示下さい（十九歳男）

◎答 渡米する事は惡くない又成功したいと云ふ希望も惡くはない、イヤ最も好ましいことですが、考へて御覧なさい日常普通の對話さへも六つ箇敷程の者が先方に知人が有るでもない所へ行つて何うします、未だ漸く十九歳の貴子だ、語學でも當方で勉强して夫れが出來る樣になつてからになさい御兩親は承知せられぬ又旅行券は勞働の目的を以てしての願出に對しては絶對に下附せられぬ、れ役所の公用品を浪費せぬ樣にして勉强なさい（係）

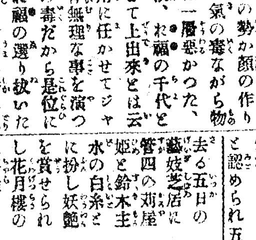
◎一中學生に答ふ 講道館へ入門せられたいから一、入門の資格二、寄宿舍の有無三寄宿舍あらば是非入舍の必要あり哉四、入門時の月謝及束修五、寄宿舍の費用幾何等ある質問でもよいが斯う云ふことは直接先方に問合せが間違ひなくて宜しい、返事の無いことはない、講道館宛問合はさるべし、本社相談の相談は斯う云ふ考へから講道館へ入門したいが何うだらうかと云ふ樣な即ち相談事に限りたい（係）

●中檢披露劇を觀る（四）
▲花月の若手揃が出演

花月は他樓と趣きを異にし演者も若手の花形ばかりで演物も菅四を除く外は恰かも勢揃ひの如き實の無い華やかな物ばかりを撰んだは怜悧な遣り方である、即ち初幕の加賀見山も花見から竹刀打迄で尾上の自害杯は演らぬのだ花見の場は誠に立派であつた殊に踊役に腕利連が廻つて居るから穴を見せない竹刀打の場も更に批難の餘地がない名妓に就ての出來榮へを云へば花奴の尾上は豫想外であつた同妓の容姿の優秀なるは今更云ふを要せないが日頃内氣の性なれば如何やと思ひしに實にシトヤカな演り方で能く尾上の性格を呑込んで居たは感心●辰子の岩藤も元來器用な性とて能く出來は出來たが同妓は餘り舞臺が器用過ぎる惡く言へばコセックのと馬鹿に色氣があつて嫌味がさす寧ろ初々しい花奴の方が芝居として成功した、其他の銘々何れも良く出來たが就中奴のれ初は水際立つての上出來慥かに五度や六度は舞臺を踏んだ者と見へる小高の姫君は上品で其役に適つて居た當日中此幕が一番の上出來但し仕安い事も第一だ二幕菅原四段は纔かに失敗であつたぼん太の眼玉が太いからと云つて松王を割附けた杯は餘り可愛想だ成程眼玉の勢か顔の作りは宜かつたが其他に於ては氣の毒ながら物にならぬ富子の玄蕃は何は一層惡かつた、只奴の源藏と桃太郎の戸浪、れ福の千代とは相應の出來なりしも見とて上出來とは云へず、福助の長松抔も器用に任かせてジャレ過ぎて嫌氣を催した全体無理な事を演つたのだから細評するは氣の毒だから是位にしよう、三幕鈴木主水はれ福の選り拔いた演物だけに同妓の主水は纔かに甘い併し取分け此所が宜しいと云ふ處はなかつたがさて此所が惡いと云ふ處を見出さなかつたゞけが即ち成功である、れ茶羅の白糸は立派であつた夫れも其筈花月の花形が新宿の女郎に扮したのだから、ぼん太の源左衛門艶子の新●郎福助の左助君江の平馬共に無難●奴のれ熊は相變らず甘い花月の連中で此妓ばかりは二三段上を拔いて居る辰子の市助は忠義一圖の市助でなく勇肌の市助になつて居た達者な妓だに舞臺の色氣を去らんから困る、土手の立廻りは頗る見物どの事なりしも早く踏つて見落した要するに花月は踊役で成功したアレ丈二の棒鱈を入れ替へたら遺憾ない、今弦に清華、松葉、有明花月の各樓を通じて今回の芝居に出演した各妓の腕前を自分の眼に映じた比格評を爲て見ると、清華の三次は調子と貫目に於てドウシテモ中檢中の座頭だ次に至つて書出しに据ゑて愧かしからぬは花月の奴である同樓のれ福、清華の各奴等も立役に於て之れに次き松葉の光松も中軸は大丈夫だ、女形中女房役では清華の玉助は矢張り筆頭で有明の勇次、松葉の八重松等之に次ぎ清華の勝丸、花月の桃太郎は藝の上に於て一特色がある、若手で有望なのは松葉の太郎清華の久之助花月の小高等で同樓のれ茶羅、花奴等は役に依つては他の妓の眞似の出來ぬ處がある、之を要するに各樓何れも一長一失はありしも總じて無難に演つたのは清華亭であつた只評者は多く望を囑され居たる井門樓が中止するに至つたのを返すくも遺憾とするのである（もの字）

（井門樓櫻助 中檢藝妓芝居に出演の筈にて義太夫の素養ある爲め立役として望みを囑されしに中止となりしは遺憾）

●勉庵文集の押收 日韓協約に慨し卅九年全羅道に暴動を起し捕はれて對馬に流謫され居ること半年にして病沒せし儒生崔益鉉の遺子永祚は儒生の援助により父の遺稿を蒐集し忠淸道にて出版したるが其頒布中卷の四、九、十二、十三、十四、十六、及附錄卷一、二、三、四の十冊は治安に妨害ありと認められ五月内部大臣より押收せられたり



去る五日の藝妓芝居に菅四の苅屋姫と鈴木主水の白糸さに扮し妖艶を賞せられし花月樓のれ茶羅

●夫に說諭願 大分縣中津町字新魚町當時京城若草町一丁目百十番戸寄留大工職秋吉末吉（四十）は去る三十七年の十二月渡韓したるが國には妻シゲとの間に十三歳を頭とし四人の子迄あるにも不拘茲半歳以上送金もせず且つ手紙の一つさへ差出さゞるにぞシゲは末吉の實兄濟吉外四人の子供と連署して所轄中津警察署を經て此程南部警察署へ歸國說諭を願出てたり

●撲り賃一圓 廣島縣生れ當時京仁線梧柳洞某所の書記を勤むる松山操（三十）と云へるは一昨五日午後八時頃仁川花町三丁目蝎甫屋に至り一人の對妓を聘したる所右蝎甫が猫を懷き居たるが癪に障りとて同妓の横面を張り飛したるより大騷ぎとなり途に花町派出所の巡査立會となり結局松山に一圓の治療料を出金せしめて事濟となる

●昨日の降雨 去月二十八日京仁附近に驟雨ありし後は再び炎天打續き高氣壓は常に東海岸にありて北東の風吹き乾燥甚だしく適々北韓地方に局部的少雨ありしも未だ全般に渡らず又低氣壓の來進ありしも發達を催さゞりしが昨日上海附近にありし低氣壓は急進して黃海に來り爲めに今朝は平壤以南に降雨し其の量も亦多き見込なり（六日京城測候所發）

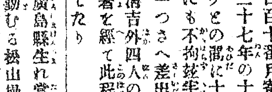
●警報 風强かるべし低氣壓の位置は黃海南部に在りて七百五十二粍を示し中心は北東に向つて進まんとす韓國南部及中部を警戒す（六日午前九時十五分仁川觀測所發京城測候所報）

●間拔けた盜泥棒 仁川花町一丁目尾田淵の妻たねは一昨日午前十一時仁川裁判所に至りたるに其留守中一人の泥棒押し入り家財を纏め居たる所にたねが歸り來り此の樣子を見て大に驚き近隣の人を呼び集め引き捕ねたるが右は朴京玉（二十）と云ふ韓泥なりしかば直ぐ警察に突き出す

●露店主人の科料 仁川宮町三丁目露店井上たいと云ふは無屆にて飲食代の抵當として客より白縮緬の帶を預りたること其の筋に知れ昨日五十錢の科料に處せらる

●京城青物市場の開業 去る四日より明治町二丁目清國領事館裏通に開設せられたる青物市場にては農家と連合して至極新鮮なる青物菓物を販賣し赤帽子チゲクンをして品物を配達せしむると云へば奥樣方の總菜買出には至極便利ならん

●中檢藝妓芝居の終了 ▲大成功を以て終結す 去る二日より開催したる旭町歌舞伎座に於ける中檢番開業披露の藝妓芝居は連日滿員の好況を呈し殊に一昨最終日の如きは三日目を休演せし爲めか開場早々滿員と云ふ有樣で空しく戸外に立ちて入る能はざりし者も何百を以て數ふべく場内は眞に立錐の餘地なき有樣なりし而して連日の演技も何れも豫想外の上出來にて天晴れ中檢の名聲を賞揚するに足り大々的成効を以て終局を告げたるは同檢番の爲芽出度しとも芽出度し



◀平民文庫▶

▲美洞の韓人巡査派出所の横町に或る役所の官舍があるが其所の山の神連の不作法なは驚く一例を擧ぐれば太平湯に入浴に來た際なぞ脱衣場に於て他人が居るのも構はず着衣から腰卷迄パタ〳〵と煽りつける子供なぞ寢かして居ければ頭の上で夫れだ扱む所がないければ姓名を素葉拔くぞ（女房の代理）▲粟山生樣に、かずならぬ私ふぜい夫れ程に思ひ下され一生忘れはいたしませぬれせじでない惰のれ言葉身にしみ〳〵とうれしく存じます、與樂れ子供樣方みな〳〵樣のたゞ榮を蔭ながら祈りあけます（清華亭内鳴吉）▲誰れだか知らぬが宜しくない惡戲だ……と思ふ（小僧）▲料理店とか飲食店とかの主人に破落漢肌の者が多いのは事實だが一方から考へると無理はない何故ならば料理に經驗のない者には出來ぬ事なのだから何しても料理番上りの者か多いからだよ然りとて客人其の他に對する談話工合なぞは注意すれば宜しからふに（への字）▲南山生よ毎日車に乘つて往來すると云ふことを自慢する位は未だ上等の部です世間には無垢の娘を弄んで行つたとて夫れを自慢の種にする人さへある（北山）▲遠からぬ所に署長の交迭があると云ふことだが眞かしら（一巡査）▲秋田縣の方で上遼野栗樣の宿所御存じの方は當欄にて（知人）▲六日の朝九時半頃明治町の或る雜貨店の前を通りかゝると百〇八十二番と電話を呼び出してる人があつた立つて聞いて居ると交換手は百八十二番に紛らはしい違つたとて切つたが交換手に對して百〇八十二番を出す奴があるかと怒つて居たが交換手も斯う云ふ間違ひから食はなくとも不平を聞かされる事も少なくなからうと獨り可笑しさを堪ひて歸つた（通行人）▲はの字君よ、漫りに他人の私行を許き、故なく他商店の商品等を惡評するのは成程互ひに愼むべき事であるが、其私行を摘發し、其商品の眞價値を暴露するが爲めに依つて多少にても世人を益するものがあつたならば强ち咎むべき事ではあるまいと思ひますが君は何う思ひます（阿々子）▲新來生よ公は松金に與すると云ふが僕は酒三本にザル二枚玉子一個で四十五錢の松葉！一否ソバ屋に驚するね（酒顚童子）▲投書歡迎（係り）▲ハハハ助け船ヱと怒鳴は善いに（小僧）

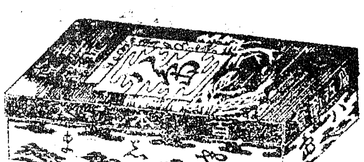
廣告
入札拂下
一、木材 六千九百三十四本
右賣却ス買受望ノ者ハ八日以後ノ官報ヲ見ヨ
隆熙三年七月
農商工部會計課

謹啓陳者時下炎暑の候各位益々御淸榮奉賀候次て小生儀從來京城明治町に於て時計店罷在一方ならぬ御愛顧を蒙り候段難有奉謝候就ては今回平壤へ移轉候に付御地營業中修繕時計の殘部は本町三丁目田中時計店へ依托致し置き候に付不取敢廣告仕候也
七月六日
平壤理事廳通 金銀細工商 櫻井初平

入院隨意
松岡醫院
南山町二丁目
電話六七五番
各科診療

自轉車大安賣
角商會代理店
前川自轉車店
京城南大門橫

廣告
○京城青物市場開業
◎市場は七月五日開業毎朝四時より十二時迄
◎本市は農商業家聯合の販賣場なるを以て品質新鮮價格低廉なり
◎本市組合には日韓各地方よりの委託販賣及每朝青物果實類の競賣をなす
◎市場には赤帽子チゲクンを置き從來の如き不當なる配達料金强請の惡弊を一掃すべし
◎市場には誠實なる指定仲買人あるを以て市場事務所に電話の注文に應じ速刻御用達をなさしむる便利あり
明治町二丁目
京城青物市場組合
電話千四十九番

中元の贈答用に好適
卷煙 八島

百本入金廿錢
京城 廣江商會
電話五七六番

牛馬犬豚 治療所 入院隨意
京城明治町三丁目（電話四二七番）
獸醫 小川龜太郞
小川家畜病院

痛快で爲になる本誌が日本一絶世の國民讀本出づ

實業之世界
每月一日發行
定價 一部郵稅共十二錢 六冊六十九錢 十二冊一圓卅二錢 注文一切前金
▲余が辭任した六十會社の運命……澁澤男爵
◎日糖事件果して罪惡か……野間氏
◎新覺悟を要する本年の卒業生……飯田氏
◎岩倉右大臣に對面の感想……後藤男
▲三菱評論十七頁に亘れる現代の大文字……社說
◎成立の根底なき十錢の幽靈會社
◎大隈伯に乾兒の出來ぬ理由……早川氏
◎奕々店で修業した實業家の息子
◎余が全盛時代の活劇……鈴久氏
◎行商に成功する法……土屋
◎天下一品見たり聞たり
◎澁多野承五郞氏を訛む……野依生
◎出世を好む小僧と好まぬ小僧
◎成功失敗は輕視せよ……武藤山治
▲天下一品名士と記者の快氣焔……野依社長

福翁訓話
五十錢 郵稅六錢 四六版洋裝三百頁册數
▲發行後五旬を出ずして四版出來す
▲福澤先生の眞價を知らんと欲せば本書を讀め
▲福澤先生の薰陶を受けんと欲せば本書を讀め
▲福澤先生の門下に親炙せしが如く親切を知らんと欲せば本書を讀め

發行所 東京芝櫻島町 實業之世界社 郵便振替貯金三千四百三十三番

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せさる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

各種　洗濯石鹸　專門製造販賣

用途一 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町二丁目　（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求妻　前途を望の青年月収ゝ貧富を問はず心身の頗る健全にして同情心の篤き淑を周旋す　○容色の美　姓名在社（二九三）

●事務員　希望知八年二十八多年會社の本店營業部に勤務の經驗あり志想堅實尤も篤實的人物薄給にても不苦姓名在社（二九四）

中學校卒業廿歳會計事務に心得あり會社及商店に被雇たし　氏名在社（二九二）

廣岡孝一君に告ぐ　住所番戸委細御通知ありたし（係）

物件部

●夏向露店　旭町一民團役所燒跡附近にて夏向恰好の露店二箇所あり希望者は至急申込あれ　氏名在社（二九五）

廣告

梅毒專門　皮膚病一般

痔　注射療法（不要入院）

京城南大門朝市場櫻家旅館內

神戸養生院長

出張診察所　電話三百十二番

院長府立大坂病院專攻

元兵庫縣立福原驅梅病院醫長

醫學得業士　蘆田耕平

○貧力乏しき病者には割引又は施療を爲す

移轉廣告

本組合事務所從來南山町一丁目此の花内に設置致し置き候處今般都合により支那領事館通り春日內に移轉仕候間此段廣告候也

京城支那領事舘通

待合組合事務所　電話九七〇番

蘭、萬年青、西洋葵、花類、盆栽販賣及貸鉢

貸鉢料一ヶ月卅錢

並に野菜類卸小賣

龍山鐵道官舍第八十九號前

榮花園

增築落成御披露

一新座敷落成

一室内裝飾並に設備完全

一諸器具清潔にして御待遇の叮嚀親切は弊店の特色とす

京城永樂町一丁目

待合　嬉野

○●○●○●○

●消閑之清遊●

每日午後　開會諸君　子陸續飛　應を賜へ

京城明治町一丁目

京城碁會（大和湯前〇万歳）

●市中之仙境●

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

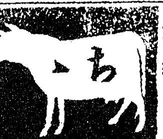
米國ウオルサム時計　米國アンソニヤ時計　韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商　仁川本町三丁目　喜多金光堂本店　電話七五〇番

時計卸小賣　京城本町二丁目　喜多金光堂支店　電話架設中

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す　弊場夙に此に留意し良好の食料を給す



京城本町五丁目（電四七番）

販賣元　仁川　松尾支店

京城東四軒町（電七五番）

搾取所　松尾牧場

●弊場搾取の牛乳を受飮せらるゝ御諸君は最も滋養富豐風味佳良の牛乳を飮用し得らるべし

入院随意

諸般の設備を改善して一般診療に從事す

內科小兒科部長　院長　安藤一郎

皮膚病花柳病外科部長　醫學士　鶴田善重

產科婦人科部長　醫學士　山添喜代藏

耳鼻咽喉科部長　石田誠

診療時間每日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）

京城明治町一丁目　電話十二番

漢城病院

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館（電話長一〇七番）

●第一回三百張賣切

●第二回二百張限り

無利益元價の

貳拾五錢

此外極上等品種々あり

右は數に限あり御希望者は早く御申込被下度候

東京市麹町區三番町廿九番地　藤井兵太郎

京城大和町一丁目日の出橋横　藤井出張所

支店開業御披露

京城南山町四丁目一番戶（花月の通り）

藪蕎麥支店（電話九一二番）

今般右の處へ支店開業仕候間本店同樣御引立御愛顧の程奉希候

代理店

●懷中要藥●

淸心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙

淸心丹は高尚なる香氣を含み口臭惡臭を排し咽喉を潤し音聲を淸朗ならしむる特效有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

淸心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

淸心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

淸心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

淸心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇效あり

淸心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す

淸心丹は人氣の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ

淸心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（箱入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の八種あり

淸心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目　電話（九百四番）（千六十八番）　新井藥房本店

京城本町三丁目（電話四七八番）　新井藥房第一分店

京城南大門外　新井藥房第二分店

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり

京城南山町一丁目

馬車配達

●●●滋養と牛乳●●●

純良　牛乳

●●●衛生と消毒●●●

京城東四軒町　岡野牧場　電話壹〇六九番

東洋總代理店

電話壹壹八九〇四番

待春日

京城本町二丁目　（以下判読困難）

ゑのもと

本店電話三九番

改築落成

本月六日開業

旭町三丁目

三日月湯

明治廿年七月創立●京城代辨店　本町四　山口吳服店　電話九

東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓●事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

元祖　消毒殺菌

牛乳・平山牧場

京城大和町壹丁目　電話一三三

內外科、眼科　花柳病科（入院随意）

本町六丁目五十番戶

瀧澤醫院（電話七二二番）

營業科目

活版活字鑄造

石版銅版

木版彫刻

コロタイプ版

寫眞版

諸帳簿

製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築移轉仕候間倍舊御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社　京城明治町三丁目　電話（三三一番）

東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

工場新築落成に付當分の間三割引

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

伊藤組

本店　京城本町三丁目（電話四〇番）

出張所　同南大門驛構內（電話七三二番）

▲淸潔の下宿▼

客室の淸潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）

かめ屋

▲懇切の下宿▼

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通　郡回漕店　電話三九番

●釜山長崎門司神戶行　山東丸　七月　四日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行　高砂丸　月　日正午時出

●大連、太沽、牛莊行　山東丸　七月二十日午前五時出

●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　七月二十二日正午

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行　立神丸　七月七日午後

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓拾錢▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月拾錢

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲普通廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人　秋山忠三郎

印刷人　高木久馬太

發行所　京城西署西小門通　京城新報社　電話六六三番